# 2025 年度マレーシア・ペルリス大学語学・文化研修募集要項

本プログラムはマレー語を全く学んだことのない学生の参加も可能です。研修では、マレー語・マレーシア文化の講座に加え、周辺地域へのエクスカーションや文化体験などのイベントを通して学んだ言葉を実際に使い、異文化コミュニケーションを体得します。

マレーシア・ペルリス大学（正式名：Universiti Malaysia Perlis, UniMAP）は、2001 年にマレーシアで 17 番目の公立高等教育機関として設立されました。マレーシア・ペルリス大学は地域を代表する工学系の大学として、特にエレクトロニクスと IR4.0、AI の教育に重点をおき、地域の電子および IT の発展を牽引してきました。マレーシア・ペルリス大学には本学で学位を取得した OB・OG 計 6 名が AI およびロボティクス分野の教員として活躍しています。

大学キャンパス

文化体験

ペナン

周辺地域のエクスカーション

■ 日　　程　2025 年 8 月 12 日（火）（日本発）～8 月 23 日（土）（日本着）

■ 研修内容

| | |
|---|---|
| 1 日目 | 日本発・アロースター着 |
| 2～6 日目 | マレーシア語・文化授業、研究室見学、アラウ宮殿&美術館訪問、マレーシアの文化を学び体験するためのレッスン・エクスカーション |
| 7～8 日目 | A3I シンポジウム、ランカウイへの文化訪問 |
| 9～11 日目 | 図書館訪問、ペナンへの文化訪問 |
| 12 日目 | クアランプール発・日本着 |

■ **宿泊施設**　ホテル

■ **募集人数**　5 名（申込多数の場合は A3I デュアルディグリープログラム参加予定者を優先とします。）
※2026 年 2 月に山梨大学で行われるショートプログラムで留学生受入のサポートが出来る方の参加を歓迎します。

■ **経　　費**
・航空運賃：大学負担（予算と参加者人数による）
・研修費、宿泊費：約 15 万円(USD1,000)
・現地での食費、海外旅行保険加入料、安否確認システム（OSSMA）、成田/羽田空港への往復交通費：自己負担
・小遣い等は各自適宜用意してください。
※為替レート等の変動により変わる可能性もあります。

■ **支 援 金**

受給要件を満たした場合、下記のいずれかの奨学金を申請することができます。ただし、支援金の総額が決まっていますので、希望者多数の場合は成績と家計基準を勘案して選考します。また、支援金額は都合により変動する可能性があります。

| | 支援金名 | 対象 | 金額 | 要件 |
|---|---|---|---|---|
| A | 日本学生支援機構(JASSO)<br>海外留学制度（海外派遣）奨学金 | 全学生 | 9 万円 | 日本国籍者または日本への永住が許可されている者。選考時の前年度成績評価係 2.3 以上の者。家計基準有。<br>本学に在学する正規の学生で学部等が承認した者。 |
| B | 山梨大学秋山勝彦グローバル人材育成奨学支援金 | 工学・医学系学生 | (工)7 万円<br>(医)5 万円 | 本学工学部/医学部に在学する正規の学生で学部等が承認した者。 |
| C | 山梨大学留学支援プログラム | 全学生 | 5 万円 | 本学に在学する正規の学生で学部等が承認した者。成績評価係数が 2.10 以上の者。 |

※受給要件を満たしている場合、A～C のうち 2 種類までの奨学金の併給が可能です。
※奨学金受給者は、帰国後の報告書の提出あるいは報告会の参加が義務付けられます。

■ **事前授業**

留学に参加するためには、展開科目群国際理解科目「海外で学ぼう-海外研修・交換留学 Gateway Ⅰ」の履修が必要です。
集中講義となりますので 5 月 30 日（金）までに履修申告をしてください。詳細は CNS に掲示いたします。授業では、英語準備や危機管理、及び異文化理解の事前授業などを行います。

■ **取得可能な単位**

学部生は展開科目群国際理解科目「海外で学ぼう-海外研修・交換留学Gateway Ⅰ」1単位

■ **申込締切**　2025年5月27日(火)17時まで

■ **申込方法**

申請書をグローバル推進課（B-1 号館 2 階 225）または医学部学務課に取りに来ていただくか、CNS の掲示あるいは以下の QR コードからダウンロードしてください。

■ **マレーシア・ペルリス大学ホームページ**

（英語）　https://www.unimap.edu.my/index.php/en/

■ **問合せ先**

グローバル推進課（甲府キャンパスB-1号館 2階 225）
メールアドレス：yu-study-abroad@ml.yamanashi.ac.jp
電話番号：055-220-8047・8703

**A3I（アジア実問題解決駆動AI教育プログラム）について**

山梨大学、杭州電子科技大学(中国)、釜慶大学校(韓国)、ペルリス大学(マレーシア)の４大学がコンソーシアムを組む「A³I=Asia Applied Artificial Intelligence：アジア実問題解決駆動AI教育プログラム」が、文部科学省「令和３年度 大学の世界展開力強化事業」に採択されました。この事業では、各大学のAI研究・教育の強み、産業界との連携ネットワーク、地域の実践フィールドを活用することで、アジア諸国との架け橋となり、Society5.0やDXを牽引するAI人材を育成します。本事業のプログラムの一つとして、本海外研修を実施します。

■ A3Iホームページ：https://a3i.yamanashi.ac.jp/